

基本目標

3

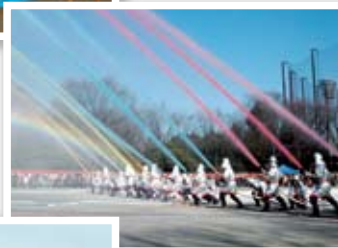
安全と安心が感じられるまち

日常のあらゆる場面で安全、安心を確保することは、市民生活を送るために不可欠な条件です。そのために、犯罪、交通事故、消費生活上のトラブルなどに的確な対策を講じ、これらを軽減していくことが必要です。

いつ発生するのか分からない自然災害に対しては、建物の防災性を高め、安全な避難場所や避難路の確保、治水対策など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、危機管理体制の充実を図ります。さらに、市民一人ひとりが適切に判断、行動できるよう、防災意識を醸成するための取り組みを充実していきます。

また、厚木基地に関わる航空機の騒音、墜落事故の不安は、長年にわたって市民生活に影響を及ぼしてきました。これらの解決についても粘り強く取り組んでいきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、日常時だけでなく災害時においても市民の生命や財産を守り、安全と安心が感じられるまちづくりを推進します。



TOPICS

青パト公用車が市民の皆さんを見守っています

大和市が所有する車両（公用車）に青色回転灯を装着した青パトが、市内の犯罪を1件でも減らそうと市内を巡回しているのをご存知ですか。中には白黒の塗装を行い、一見警察のパトカーと見間違えてしまう青パトも走っています。

青パトは、広い範囲のパトロールが可能で、青色の回転灯が遠くからも目立つことから、犯罪の抑止効果が高いと言われています。

市民の皆さんが安全と安心に感じられるまちの実現に向け、多くの青パトが市内を走り回り、犯罪が起きにくいまちづくりを推進します。

個別目標

3-1

生活の安全性を高める

この目標で「めざす成果」

- 1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている
- 2 安心して消費生活を送っている
- 3 交通事故の不安を感じることなく暮らしている



こんな事業を実施します

地域防犯活動推進事業、防犯灯整備支援事業、
(仮称)市営交番整備運営事業など

消費生活相談事業、消費者啓発事業、
市民相談支援事業など

交通安全啓発事業、交通安全総点検事業、
交通安全施設整備事業、歩道セーフティアップ事業など

個別目標

3-2

災害への対応力を高める

この目標で「めざす成果」

- 1 災害に対する危機管理体制が整っている
- 2 災害に対して強いまちになっている
- 3 十分な消防力が整っている



こんな事業を実施します

災害対策本部運営事業、要援護者支援対策ネットワーク事業、
防災備蓄品等整備事業、地域防災訓練事業など

道路橋改修事業、建築物の耐震化促進事業、
雨水管整備事業など

救急・消火活動事業、消防車両整備事業、
住宅防火対策事業、応急手当普及啓発事業など

個別目標

3-3

航空機による被害を解消する

この目標で「めざす成果」

- 1 航空機による被害のない生活を送っている



こんな事業を実施します

基地対策涉外・要請等活動事業、騒音測定事業など

TOPICS

自主防災力の向上を目指して

大規模な災害においては、交通網の寸断、建物の倒壊、火災などの被害が甚大かつ深刻になることが予想され、このような災害に消防、市役所などの公共機関だけで対応することには限界があるものと考えられます。そのようなときに力を発揮するのが、地域ぐるみの協力体制です。過去の災害でも、地域の皆さんが救出・救護活動を行うことで、多くの人命が救われました。今後も大和市では防災協力員研修、自主防災会長研修会等を開催し、自主防災力の向上に力を注いでいきます。



TOPICS

尊い命を救うAED

心室細動という言葉をご存知ですか。
心室細動とは、心臓がけいれんすることによって正常な動きを失った状態になる不整脈の一つで、発症から1分経過することにより救命率が7～10%ずつ低下するとされています。
大和市では、このけいれんを取り除くためのAED（自動体外式心臓動器）を公共施設に64台設置しました。今後は、AEDを設置している民間の施設に「やまとAED救急ステーション」として協力をお願いし、市民がいち早くAEDを使える環境を整えていく予定です。

